

■8月27日

ANAHD、ミャンマーの航空会社、アジアン・ウイングス・エアウェイズに出資

ANAホールディングスはミャンマーの航空会社アジアン・ウイングス・エアウェイズに49%出資する方針を固めた。ミャンマーを拠点に東南アジア諸国を結ぶ路線を広げる。日本発着の需要に加え、現地航空会社を通じて成長著しい旅客需要を取り込む国際線戦略を展開。

NHKによると、「ANAホールディングス」は、「アジアン・ウイングス・エアウェイズ」の株式の49%を二十数億円で取得することを、27日、取締役会で決定する。

アジアン・ウイングス・エアウェイズは2011年に設立されたばかりの新しい航空会社で、現在はミャンマーの国内線を運航している。

ANAホールディングスは、外国の航空会社として初めてミャンマーの航空会社と資本提携することで東南アジア地域での航空事業に本格的に参入し、急速に拡大が見込まれるこの地域の需要を取り込みたい考えだ。

(日経)8/27

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD260OG_W3A820C1MM8000/?dg=1 (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD260OG_W3A820C1MM8000/?dg=1)

(NHKニュース)8/27

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20130827/k10014056081000.html> (->

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20130827/k10014056081000.html>)

エアアジア・ジャパン (LCC)、最終セール、成田発—国際線3800円

エアアジア・ジャパンは26日、成田発着全路線を対象に最終セールを実施すると発表した。

2012年8月の就航からエアアジア・ジャパンを応援してくれていた顧客に感謝の気持ちを込めておこなうもので、エアアジアブランドとしては、今回が最後のセールとなる。

セールでは、成田—仁川、釜山、台北線を片道3900円で提供。国内線は片道4680円からとした。別途支払い手数料や空港手数料が必要だ。搭乗期間は9月1日から10月26日の2ヶ月間。

(トラベルビジョン)8/26

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58661> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58661>)

日航、ハワイ線、プロダクトとサービス刷新

日航は26日、9月以降、プロダクトとサービスが刷新される、日本発着のホノルル線の概要を発表した。

プロダクトの刷新では、羽田と中部、関空発の全便と、成田発3便のうち1便について、ビジネスクラスにシェルフラットシートを搭載。残る成田発2便も将来的に新シートに置き換えていく。

サービス面では9月1日から、機内食で今年1月に開始した新概念「空の上のレストラン」を導入。

10月1日には、ホノルル到着前の化粧直しなどに利用可能な女性専用のパウダースペースを機内に設置。エコノミークラス最後方の4席をカーテンで囲い、授乳スペースとしても利用できるようにする。

(トラベルビジョン)8/26

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58663> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58663>)

(JALプレスリリース)8/26

<http://press.jal.co.jp/ja/release/201308/002604.html> (-> <http://press.jal.co.jp/ja/release/201308/002604.html>)

スターフライヤー、国内線、新割引運賃設定、福岡—関空4500円～

スターフライヤーは26日、2013年10月27日～11月30日迄の事前購入型各種割引運賃を決定し国交省に申請したと発表した。

従来からの事前購入割引運賃に加え、STAR55、STAR45、STAR14、STAR3を設定した。

例えば、搭乗日55日前までに予約ができるSTAR55では、購入後の予約変更はできないが、福岡—関空線は4500円～6000円とした。

STAR 55

【東京(羽田)—北九州線】 \10,000～\12,300

【東京(羽田)—福岡線】 \10,800～\12,300

【東京(羽田)—大阪(関西)線】 \7,300～\10,800

【大阪(関西)—福岡線】\4,500～\6,000

STAR 45

【東京(羽田)—北九州線】 \10,500～\16,500

【東京(羽田)—福岡線】 \10,900～\16,500

【東京(羽田)—大阪(関西)線】 \7,400～\10,900

【大阪(関西)—福岡線】\4,800～\6,500

(スターフライヤー HP)8/26

http://www.starflyer.jp/starflyer/news/2013/news_20130826_fare.html (->

http://www.starflyer.jp/starflyer/news/2013/news_20130826_fare.html)

PEACH(LCC)、関西、那覇、石垣周遊運賃「ハッピーピーチアイランドホッパー」期間限定設定

ピーチ・アビエーションは26日、大阪(関西)、沖縄(那覇)、石垣の3空港を結ぶ運賃「ハッピーピーチアイランドホッパー」を販売すると発表した。運賃適用搭乗期間は9月13日～12月19日。

この「ハッピーピーチアイランドホッパー」は、大阪(関西)、沖縄(那覇)、石垣を結ぶ3区間を、12,000円の均一料金とし、出発地は、3つの空港すべてが対象となる。予約は、コンタクトセンターのみで、新規予約手数料(3,150円)が必要。

(PEACH プレスリリース)8/26

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130826-Press-Release-J.pdf> (->

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130826-Press-Release-J.pdf>)

松山空港利用促進協、松山—上海・仁川線へ補助金を助成、路線維持へ

松山空港利用促進協議会は、搭乗率が低迷している松山—上海、ソウル両線の利用促進を10月にも始める。同県の中村時広知事が26日の記者会見で明らかにした。路線維持のため搭乗率の向上を目指す。

松山空港発着の国際線は、上海線は中国東方航空が週4往復、ソウル線はアジアナ航空が週3往復それぞれ運航している。6月の搭乗率は上海線が34.7%、ソウル線は43%と低迷している。両国との外交問題が影響しているとみられる。

日経によると、旅行会社への助成についてはツアー出発の1カ月ほど前の予約状況のみで、航空会社と協議のうえで助成額を決める。上海線なら1人当たり1000円もしくは5500円、ソウル線は同1000円もしくは4000円を補助する。

同協議会の会員企業に対しても、社員らの利用を促す。両線を利用した場合、1人当たり5000円を補助する。1社の補助額の上限は両線合わせて年5万円で、10人利用すれば同協議会に支払っている年会費と相殺される格好だ。

(日経)8/26

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO58952820W3A820C1LA0000/> (->

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO58952820W3A820C1LA0000/>)

(日テレ)8/26

<http://news24.jp/nmn/news8783416.html> (-> <http://news24.jp/nmn/news8783416.html>)

新日本航空、新潟—佐渡、半年ぶりに運航再開、当面は機長訓練優先で

新日本航空が運航する、新潟と佐渡を結ぶ路線は、機体に不具合が生じたためことし2月から運休していたが、26日までに機体の検査を終えたとして半年ぶりに今週中にも、運航を再開する見通しだ。

この路線は、ことし2月、年に1度の国の検査に備えて、機体の整備を行った際、着陸時にショックを和らげる部品に不具合が生じていたことが分かった。

そのため、イギリスのメーカーに部品の修理を依頼したが、必要な部品がそろわず、国の検査を受けられない状態が続いたため運休を余儀なくされていた。先月ようやく部品がそろい、26日までに国の検査を終えて安全が確認されたとして、新日本航空は半年ぶりに今週中にも、運航を再開することを決めた。

しかし、運休が長引いた影響で改めて機長の訓練が必要になるため、当面は、運航をこれまでの1日に4往復から1往復にして対応する。[関連ニュース]

k10014056651000.html

(NHKニュース)8/27

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20130827/k10014056651000.html> (->
<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20130827/k10014056651000.html>)

HIS、国際チャーター、関空線運航開始、9月11日に延期

エイチ・アイ・エスは26日、タイで設立した「アジア・アトランティック・エアラインズ」による、関西—バンコク線のプログラムチャーターの運航開始を9月11日から延期すると発表した。7月末の修正計画では、9月1日からの就航を予定していた。

成田—バンコク線は8月20日から就航を開始したが、同社の使用機材2号機の認可申請手続きに時間を要しているためとした。

(日刊航空)8/27

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0827-08.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0827-08.pdf>)

(HISプレスリリース)8/26

http://www.his.co.jp/material/pdf/n_gr_20130826.pdf (-> http://www.his.co.jp/material/pdf/n_gr_20130826.pdf)

日航、国内線割引運賃の販売方法変更なし、AIRDO・ソラシドは販売期間拡大

日航は23日、2013年10月27日～2014年2月28日搭乗分の国内線割引運賃を国交省へ届け出た。

全日空が冬季スケジュールから割引運賃の販売を原則2期制にして、2ヵ月以上前でも決済を受けられるように変更、購入期間を大幅に拡大したが、日航は購入期間について当面は現在の体系を変えずに販売する方針だ。

一方、AIRDOとソラシドエアは10月27日搭乗分の割引運賃から、全日空と同様に予約・販売期間を拡大する。今回の変更で、最大で約7ヵ月前から希望の搭乗日の予約と購入が可能となる

(日刊航空)8/27

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0827-02.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0827-02.pdf>)

日本ブランド戦略研究所、WEBサイト価値、一位全日空、二位日航

日本ブランド戦略研究所は26日、日本の有力企業237社のWebサイトの価値を調べた「WebEquity2013」の結果発表した。トップは全日空の1323億1000万円となり、2位は日航の1087億2100万円、3位にはトヨタ自動車828億2800万円が入った。

Webサイトの価値は売り上げ価値と情報価値を合わせた値で、情報価値は閲覧価値と行動価値となる。事業に対する

貢献度に基づき、アンケート調査とネット視聴率調査で評価している。

(日本ブランド戦略研究所)8/26

<http://web-tan.forum.impressrd.jp/n/2013/08/26/15903> (-> <http://web-tan.forum.impressrd.jp/n/2013/08/26/15903>)